

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60%	40%		
	2 職員配置数は適切であるか	70%	30%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	70%	30%		
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%		明文化したものがない
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10%	30%	60%	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	30%	10%	年間計画に沿って実施している
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	60%	30%	10%	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	30%	10%	使用していない
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20%	50%	30%	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			会議を開いて立案している
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			他職種(保育士・療育員・看護師・理学療法士・児発管・医師等)からの意見を聞き工夫している。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%				

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いい え	改善目標、工夫している点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			個人で担当があり、当日の関わりスタッフも必要に応じて配置している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%		20%	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			半年毎の見直し作成を行い、保護者への確認を実施
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	100%			一番よく知る個人担当が出席している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			担当者モニタリング会議は可能な限り参加し、困難時は書面で情報共有している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%			適宜連携している
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			移行支援会議等の出席と、卒後の訪問に対応している。新入学児の学校からの見学に応じている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			可能な限り参加している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	施設内の院内保育所の幼児の散歩時に、交流し挨拶を交わしている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	50%		50%	代表者による地域振興局等での部会に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日頃から機会を作っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			100%	医療を伴う重心児者中心の事業所である

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いい え	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に説明している
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			送迎時等を利用して行っている
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%		50%	適宜行っている
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	コロナ感染防止のため令和2年度未実施
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			即時動けるようにしている
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			年に4回、季刊誌を発行している
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	90%		10%	必要と思われる事項については、事業所での正確な情報共有を目的に連携を図る場合がある
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%		50%	今年度に限り未実施。令和3年度は未定(コロナの収束を待っている状態)	
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			策定し、周知している
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年に1回、児発対象児も参加している。周知が不十分であると反省。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			終礼時に報告し記載している。令和元年度の症例として部署で取り組みまとめた
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			施設全体の勉強会として年間計画に盛り込まれる年度がある
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%			安全面を主とする旨計画書に記載しサインを頂いている